

巻 頭 言



去る4月の異動で通信総合研究所横須賀無線通信研究センター（CRL横須賀）のセンター長として横須賀に赴任してきました。YRP研究開発協議会の関係では幹事会代表幹事を仰せつかっています。宜しくお願いいたします。YRPとは4年前に、まだこのあたりの丘が切り開かれ整地されたいた時期に見学したのが最初の出会いで、その後関西支所（神戸市）、本所（小金井市）と異動したため、YRPとの本格的な関わりはこれが初めてになります。仕事の面では、関西支所へ異動するまで、ミリ波帯の開拓に関する周波数資源の開発プロジェクトに携わっていましたので、3年ぶりで無線通信関係の仕事をする事になりました。

赴任以来経験するYRPの活況ぶりについては本当に目を見張るばかりです。

この点については本ニュースの先月号に掲載されたSCAT畚野専務理事の記事でも触れられています。今回YRPニュースに紙面を与えられましたので、CRLの最近の動きなどを交えてCRL横須賀のYRP研究開発協議会の場を通じた活動の様子などにつき述べさせていただきます。

既に報道等でご承知のことと思いますが、中央省庁再編の動きの一環として、2001年1月1日をもって、CRLは総務省へ所属することになります。さらに2001年4月1日をもって独立法人化されることになっています。通常の研究業務と並行して、中期計画の検討、組織・運営法の見直し、企業会計制度導入準備など、独立行政法人化の準備作業があわただしく進んでいます。独立行政法人CRLの目指す大きな方向の一つとして、より開かれた研究所があります。

CRL横須賀では、従来から、YRP研究開発協議会の活動への参加等を通じて、多数の民間企業の方々と積極的に共同研究を進めてきています。より開かれた研究所を目指す動きを一步先取りしているものと言えます。成層圏プラットフォームプロジェクト、高度MMACプロジェクト（ミリ波映像多重伝送システムなど）、ミリ波車々間通信システム、路車間通信システムなどのユーザ指向でかつ将来指向の移動通信研究開発プロジェクトをYRP研究開発協議会の共同研究グループと密接な連携の下に進めさせていただいています。共同研究グループによる研究開発成果には、近いうちに実用化へと展開されることを強く期待させるものも出てきています。YRP研究開発協議会の場を通じた共同研究推進の重要性と、それに相応しい研究開発テーマを発掘し続けることの重要性を感じています。

無線通信を含む広い意味での情報通信の大きな流れは、マルチメディアサービスを可能とするより一層の広帯域ネットワーク化と、いつでもどこでもだれとでもさらにはどんな情報でもケーブルに束縛されることなく利用できるマルチメディア無線通信ネットワーク技術の発展、さらには両者の結合へと進むものと考えられています。そのような流れの中で、Future Generationの移動通信技術、マルチメディア無線通信ネットワーク技術の発展に向けてYRPに集う関係機関の方々と連携しながら研究開発を進めていきたいと考えています。

郵政省通信総合研究所 横須賀無線通信研究センター センター長
横須賀リサーチパーク研究開発協議会 幹事会代表幹事
井 原 俊 夫

YRP 移動体通信産学官交流シンポジウム 2000 の報告



【招待講演の様様】

昨年の第1回に引き続き、7月12日～13日の2日間に渡り、第2回目の移動体通信産学官交流シンポジウムが開催された。海外から4件の招待講演と、大学関係者からの42件の研究発表が、YRPホール、第1会議室、NTTドコモプレゼンテーションホールの3会場で行われた。招待講演では海外のベンチャービジネスの現況紹介があり、多くの聴講者の興味を引いた。また、研究発表ではCDMA関連が人気を集め、また、OFDM関連に関心を持つ人が多かった。

講演と並行し、YRPロビーでは6件のポスターセッションが展示された。特に、ソフトウェア無線に向けたシミュレーションのデモ展示が人気を集め、説明者の周りに人の輪ができ、熱心な質疑応答が行われた。

昨年の約700名を上回り、両日で延べ850名余りの聴講者が来場され、発表関係者も含めた参加者の合計は900名を超えるという大盛況となった。このため、一部会場では立ち見となるなど、聴講者の皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。7月12日発表終了後の懇親会には、多くの方々が参加され、産学官交えての熱心な懇談が行われた。



【ポスタープレゼンテーションの様様】

今回のシンポジウムを、発表者、聴講者、関係者等多くの方々の御協力のおかげで、盛況裡に終了できたことを深謝申し上げます。このシンポジウムを機会に、一つでも多くの共同研究・共同事業が出てくることを期待しております。来年も本シンポジウム開催し、YRPのメイン・イベントとして定着させていく予定ですので、御意見等ございましたら、事務局までご連絡をお願い致します。

YRPホームページがリニューアル・オープン【[Http://www.yrp.co.jp](http://www.yrp.co.jp)】



8月4日、YRPホームページがリニューアル・オープンしました。今回実施したリニューアルの大きなポイントは、YRPの事業を3つの切り口から検索できるよう工夫したことです。皆様ぜひご覧下さい。

- YRPとは・初めての人向けに、ここに来ればYRPの事がわかるように
概要、みどころ、アクセスや交流の場である掲示板など
- YRPの中核施設・(株)YRPの会社概要、主要施設の案内など
- YRPの研究活動・YRP研究開発協議会のページ、協議会の活動内容、セミナーやイベントの案内など

イベント予定

横須賀リサーチパーク研究開発協議会等が今後開催を予定している主なイベントは以下のとおりです。詳細はローズテリア内コミュニケーションボードやYRPホームページ等でご案内させていただきますので、積極的にご参加ください。

開催日	イベント	
9月5日	ITU-T局長YRP視察	
9月14日	研究開発トレンド会議	
9月19日	テレコムサービス協会YRP視察	
9月21日～22日	成層圏プラットフォームワークショップ	於：コクヨホール（品川）
10月11日	モバイルIPセミナー	於：YRPホール
10月24日	電気学会調査専門委員会	
10月25日	電子情報通信学会マイクロ波フォトニクス研究会	
10月26日～27日	ITS国際ワークショップ（ITST2000）	於：YRPホール

横須賀リサーチパーク推進協会コーナー

WPMC '00タイ現地調査団への参加について



11月12日(日)～15日(水)にかけタイ・バンコクにおいて研究開発協議会主催によるYRPテレコムサミット「国際移動通信シンポジウムWPMC '00」が開催されます。

推進協会ではこのシンポジウムに併せ、タイにおける情報通信関係研究開発機関等を訪問し、産学官連携等の実態把握、国際交流環境に関する基礎調査及びそれらに関する意見交換、企業誘致等を行うため調査団の派遣計画を進めております。詳細が決まり次第、会員の皆様にはご案内させていただきます。

国内事例調査見学会について

9月7日(木)、8日(金)の両日にかけて、今後のYRPにおけるベンチャーインキュベーション事業の参考とするため、インキュベーション事業の先駆けである京都市リサーチパークベンチャー関連の実態を把握するため事例調査並びに見学会を実施します。

体制の強化について

YRPも本年10月に3周年を迎え、国内外からの注目を更に集めるようになってまいりました。YRPの第2段階の発展に向け推進協会も役員体制を強化することとなりました。

現在1名の副会長から、会長の指名により新たに3名の副会長が任命され、副会長が4名体制となり推進協会の活動をより充実したものとすることになりました。

(現任)横須賀市助役	井上 吉隆 氏
(新任)㈱NTTドコモ取締役ネットワーク企画部長	酒匂 一成 氏
(新任)松下通信工業㈱代表取締役専務	倉本 實 氏
(新任)京浜急行電鉄㈱取締役企画開発部長	佐藤 昌弘 氏

㈱横須賀テレコムリサーチパークコーナー

夏祭り開催の報告とお礼

連日の雨模様の中開催が危ぶまれましたが、当日、直前に雨も上がりなんとか開催にこぎつけることができました。

夕方5時30分屋台開始、6時ステージ開始、はっきりしない天候とはうってかわり、会場は大変な盛況を見せました。フランクフルト・やきとり・やきそばなど屋台の各パートには長蛇の列ができ、多めに用意したはずのビールは売り切れ、やきそばは早めに店じまい、ステージでは地域の仲間の手に汗をにぎる演奏や歌が続き、いやがうえにもムードは盛り上がり、応援部隊によるパーカッション・フラメンコで最高潮に達しました。舞台終了後は、お楽しみ抽選会でツキを占い、最後は花火で、楽しかった夏の日の夕べに別れを告げました。



(お礼) 夏祭りが成功裡に終わりましたことは、一重に参加された多くの皆様、また、ご協力いただきました各社関係者の皆様のお陰と存じております。実行委員会一同衷心からお礼を申し上げます。

ノキア横須賀 R & D センター

1989年より日本で開発購買の部門としてスタートしたノキア・ジャパンは、1994年からデジタルの携帯電話を販売してきました。1997年からはインフラの部門を設立、1999年よりインターネットのセキュリティー製品も市場に導入しています。またノキアは日本での研究開発にも力を入れており、1995年には端末の研究開発センターを設立、1998年からはインフラの研究開発もはじめました。

1998年に創設されたノキアの横須賀 R & D センターでは、世界の各地の研究開発センターと連携しながら、次世代移動通信システムのテスト、カスタマーサポート等を行っています。次世代移動通信システム WCDMA のサービスが先駆けてスタートするのがこの日本です。ノキアは日本を中国、米国とならぶ重要戦略国として位置付けています。



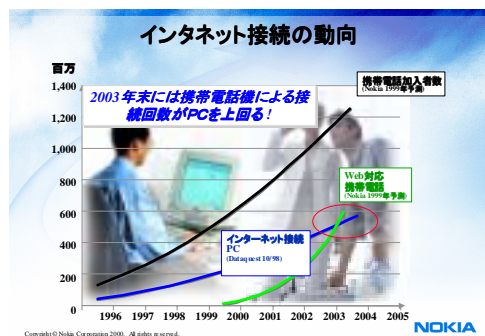
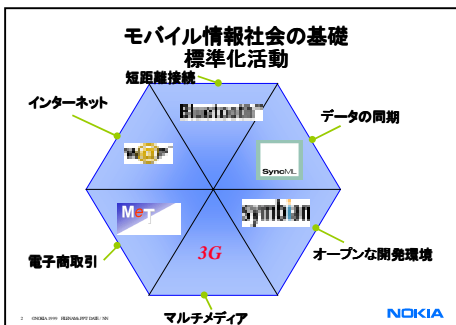
ノキアはこの次世代の移動通信の技術革新を通じて「モバイル情報社会」の実現を目指しています。モバイル情報社会とは、世界中の人が、場所や時間に制約されることなく必要な情報に簡単にいつでもどこからでもアクセスができるようになる社会です。そこではオフィスが「仕事をするための固定された場所」を意味するのではなく、そこが空港であってもその仕事をしている場所がオフィスとなるのです。

そのモバイル情報社会の実現に欠かせない技術があります。すでにグローバルな規格として標準化がすす

められている無線アクセスの WCDMA はその大きな柱です。それに加えて必要となる技術を開発し、それをグローバルでオープンな規格とし、自由な競争を促進するために、ノキアは数多くの標準化の活動を重ねております。

WAP (モバイルインターネット)、Bluetooth (短距離無線技術)、シンビアン社の EPOC (モバイルOS) に加え、今年に入ってから MeT (モバイル e コマース)、SyncML (機器間のデータ同期化のプロトコル) など新しいイニシアティブを創設メンバーとして立ち上げています。

これはいずれも、次世代の通信システムの根幹をなすマルチメディアのサービスの充実には欠かせない技術であり、次世代の通信システムのグローバル化にあわせ、いずれもグローバルでオープンな規格にすることを目指しています。



【編集・発行】 横須賀リサーチパーク推進協会
 〒239-0847 横須賀市光の丘 5 TEL : 0468-40-4100 FAX : 0468-40-4101
 横須賀リサーチパーク研究開発協議会
 〒238-0847 横須賀市光の丘 3 - 4 TEL : 0468-47-5008 FAX : 0468-47-5010
 (株)横須賀テレコムリサーチパーク
 〒238-0847 横須賀市光の丘 3 - 4 TEL : 0468-47-5000 FAX : 0468-47-5010 <http://www.yrp.co.jp>